

## 題材名「ノントンもぐもぐもぐ」

### 目 標

- ・ 読みたい絵本を目線で選択し、絵本の読み聞かせを見たり聞いたりして楽しむ。
- ・ 立位で体のバランスをとる。
- ・ 腕を動かしてスイッチを押す。

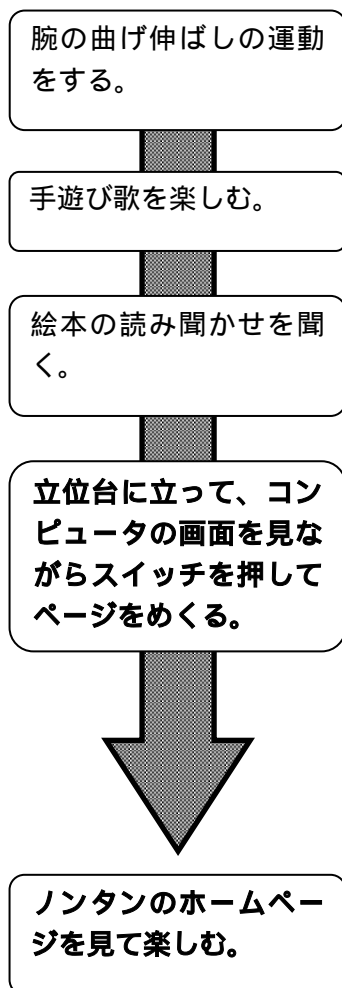
### コンピュータを活用する利点

絵本をデータ化することによって、肢体不自由児にも自分の意思で次のページをめくれるようにすることができる。

腕の機能訓練と大好きな絵本の読み聞かせとを合わせて活動することで、楽しみながら訓練にとりくむことができる。

### 授業の流れ

（1時間扱い）



### ICT 活用場面

本児は絵本が大好きである。紙芝居や絵本の読み聞かせの時には目を輝かせ、時には身を乗り出して聞いている。しかし、両腕に麻痺があり、自分で絵本をめくることはできない。

そこで、手の機能訓練をするためのスイッチがあるので、それとマウスを接続し、クリックできるようにした。そして、絵本をスキャナで読み込み、PowerPointに1ページずつ貼り付けて、スイッチを押すごとに絵本のページをめくることができるようにした。

なかなかスムーズにはクリックできないが、スイッチを押せば画面が変わることは理解できてきた。何とかスイッチを押そうとする動きが見えてきた。



### 成果と課題

クリックは押すだけでは反応せず手を持ち上げて反応する。押す動きはできても、押したところから手を持ち上げる動きがなかなかできなかった。そのことが課題ではあるが、繰り返し訓練を行うことによってその動きが身についてくることを期待している。

児童が関心のあることと、本人の課題である、手を動かしたり体を保持したりすることを組み合わせることが機能の発達の近道である。その2つをつなぐものとしてICTは非常に効果的であり、本児の活動に対して有効な活用となった。

しかし、ICTばかりに頼るのではなく、実際のものに触れたり感じたりすることも忘れずに活動していくことも大切にしていきたい。普通学級の授業と同じようにICTと実体験とのバランスをうまくとる必要がある。

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台 スイッチ
使用ソフト名	Microsoft PowerPoint
使用教室	肢体不自由学級